

【12 .働く女性として感じていることや要望】

問 12 あなたが日ごろ働く女性として感じていることや要望など、ご自由にお書きください。

働く女性として日頃感じていることや要望などを自由に記述してもらったところ、131 件の回答が寄せられました。

女性が働き続けていくうえで、家事・出産・育児・介護などとの両立について多くの意見が寄せられています。また、職場において、処遇や役割などで男女に違いを感じるという意見もみられました。ここでは主なものを紹介します。

《常勤の正社員》

【25 歳未満】

- ・ 家族の理解。
- ・ 働いている間、子どもを見ていてくれる信頼できる施設をたくさん設けてくれると嬉しいと思います。
- ・ 今の仕事をしながら子育てをすることは難しいと思います。もし子どもができたら、私は会社を辞め、手がかからなくなったら仕事を始めたいと思いますが、なかなか見つからなそうだと不安に思います。これからは女性が子育てをしながら仕事もできるような会社の制度と国の働きかけがもっと充実しないといけないと思います。その為には、私たち一人一人女性はもっと社会へ出てもいいという考えを、男性は女性がもっと働いていいのだという考えをもつ気持ちが必要だと思います。
- ・ 自分が女だから出来なかった仕事がありました。仕事でも、仕事以外でも男しか出来ない事はあります。女がどんなに頑張っても不可能な事です。逆に、女しか出来ない事もありますが…。男女が互いに役割を理解できたらいいですね。
- ・ 私たちの会社は体力も使うので、男性に体力的にかなわない部分があると思いますし、協力したりして頂いたりしています。全く同じ仕事をするわけではないのと、適材適所を考えてくれるので助かっています。事務職やキャリア組などの分類ではないせいか、特に男性・女性は意識していません。それより、生き生きと働くということを考えるならば、個々人の自立と成長に焦点をあてる方がいいのではないのでしょうか。
- ・ 職場に女性が少ないためか、産休・生理休暇などの説明がほとんどされていません。
- ・ 生理休暇制度があることは知っているが、実際上司が男性だと言えません。

【25 歳～35 歳未満】

- ・ 1人暮らしの独身者も働きやすい環境であつたらよいと思います。
- ・ 「男女均等」と謳われていても、実際は男性優位です。賃金も与えられる仕事も役職など地位も評価も男性の方がはるかに良いです。女性は所詮「腰掛け就職」と思われているのか。とても残念に思います。もっと均等に仕事を与えて正當に評価して欲しいです。
- ・ いまだに男女差別があるように思います。環境をもっと整えて欲しいです。
- ・ 育休を済ませ、職場復帰すると、今まで一緒に働いていた人、また新しく入った人の中に入ることが難しくなつた。育休をもらうにあたり、私自身が初めての人だったらしく、事業所側も色々戸惑つたらしい。職員の休業取得や育児に対する理解が乏しく、「育休で・・・」という言葉が出しづらいつ感じました。もう少し女性の働きやすい場を作つて欲しいです。また、保育園に入れず、やむを得ず育休になるという現実に対して、保育園のあり方を考えて欲しいです。

- ・ うちの会社では育児休業など前例がない為、今後もし妊娠した時どうなるか不安です。
- ・ 各種制度は法的には整ってきていますが、実際には、活用できない場合が多いのが現状です。
- ・ 各保育園は、0歳～2歳児クラスの入所人数が少なく、なかなか入ることが出来ません。保育園が見つかるまで育休を取らなければならないので、なかなか職場に復帰できません。そこで、各企業に0歳～2歳児までを預かってもらえる託児所を作ってもらいたいと思います。
- ・ 羽村市は近隣の市町村に比べて育児支援が充実していると思います。しかし、社会的には育児・介護は女性の役目と考えている人が多いので、男性も意識を持つような活動を行って欲しいです。それと同時に、もっと支援を充実させて欲しいです。共働きをするには女性の負担が多すぎると思います。女性に関連する制度はいろいろありますが、産前産後休暇制度・育児休業制度以外は利用するのが難しいのが現実です。
- ・ いろいろな行政サービスがあるようですが、利用条件やどこでどうやればよいのかわかりづらいので利用しづらいです。
- ・ 育児をしてもまた仕事ができる環境にして欲しいです。
- ・ 現在の仕事において、やりがいもあり、上司・仲間などにも恵まれ楽しく働いています。育児手当・児童手当など、実際に扶養している者の所得で支給されたら、働くのにゆとりができて感じています（実際に養育しているのは自分なのに、同居の親の所得によるので）。
- ・ 最近になって子どもを持つ母親の為にサポート施設が多くなってきていますが、5年位前には少なく、子どもを抱えての仕事との両立は大変でした。病後児保育ができた事は心強いものだと思います。羽村市内に住んでいる方しか利用出来ないのがちょっと難点です。どんどん女性が働きやすくなって欲しいと思います。
- ・ 子どもの病気による遅刻・早退・欠席の職場の上司の理解があまりなく、取得しづらいです。
- ・ 土曜日保育は「極力控えて」というような事を保育園で何度も言われ、一人目の時は身内に預けていました。仕事上、土日休み関係なく出勤しているので、日曜日出勤の時は身内にお願いしている状況です。近くに子どもを見てくれる人がいるので社員として働けていますが、会社側も配慮してもらいたいという思いもあります。これから先、子どもを育てながら働く女性はもっと増えると思いますので、国・都・市・企業が色々な面で働きやすくてできる環境を作ってもらえたらなと思います。
- ・ 家庭で男の人の理解が足りない気がします。お互い働いているのだから、もう少し協力があっても良いと思います。
- ・ 女性にも、社会で働く必要性や重要性はあると思います。子どもがいても働き、外に向かう視野など、閉鎖的にならず、自ら可能性を広げることも大切だと思います。それには、もちろん共に暮らしている人の協力や理解は必要になりますが…。男女の区別なく、共に支え合い、暮らしていけるのが一番大切で、もっと広まれば良いと思います。女性には女性ならではの職種もあると思います。女性の力を有効に活かしていける社会であって欲しいと願います。
- ・ 大きな企業などではしっかりとした休暇制度や休業制度などがあると思いますが、私の働いている会社は正直そういう制度を使っている人は見られません。実際にあるとしても使いづらいのが現状です。もう少しいろいろな制度を使いやすくしてもらえたら続けていく人も増えていくのかもしれない。
- ・ 長期にわたる休業は会社への負担が大きく、その間の仕事を誰がサポートするのか。また同じ条件で戻って仕事ができるのか不安があります。個人負担軽減・支援も必要だが、会社への負担軽減・支援も必要だと思います。

- ・ 働いている職場では、女性の昇進昇格がありません。男女の均等待遇が本当になされているか疑問に感じます。また、女性社員は教育訓練に参加させてもらえません。大変不満に感じます。
- ・ 前向きに考えて毎日を気分よく楽しく過ごすことを心がけているつもりです。
- ・ 働いているという意識の中で、めりはりのある日々が過ごせていると思います。無意識にも社会に貢献できているのではないかと思います。私は、できたら育児休暇などを活用させて社会復帰をしたいと考えております。例が少なかったり なかったりすると、取る側は非常に取りにくい環境に置かれてしまうのでは…と少し心配です。その為には、国全体で女性にも男性にも取りやすい環境を促進して頂きたいです。
- ・ 日々自分自身を磨く努力をして、研修等にも積極的に参加し、勉強し続けなければならないと感じています。
- ・ このアンケートは夫のいる家庭の事や子どもの小さい家庭向けのアンケートで、答えを選ぶのに困りました。実際、 をして選びましたが、私の必要としている内容にはほど遠いものでした。ですから、あまり参考にはならないと思います。

【5 歳～45 歳未満】

- ・ 「男は仕事、女は家で家事と子育て」がいまだに日本の風習になっている事をとて悲しく思います。結婚しても子どもを産んでも女性だけに家事や育児が負担となるので、若い女性たちは結婚も子どもも産まなくなっているのではないかと思います。自分の両親に介護が必要になった時、仕事が続けられるかわかりません。介護もまた、女性だけの負担になっていることは否定できないのではないのでしょうか。
- ・ これから先、親の介護の問題が出てきた時、介護をしながら現在の仕事を続けていけるか不安があります。また、有休休暇自体取りづらいので、もっと休暇を取り易くなり、リフレッシュできるような職場になって欲しいです。
- ・ 羽村市では病後児保育の実施など行われていますが、私の住んでいる所ではまだ行われていません。近隣の市町村への呼びかけもお願いします。ファミリーサポートなど考えたことはありますが、費用が少し高いように見え、使用することができずにいます。
- ・ 学校行事や病気などでの早退や休みのお願いなどが言いづらいつ感じています。
- ・ 今の働き方では、子どもを産み育てることは不可能。突発的な子どもの発熱があったりすれば仕事に支障が出ます。かといって預ける親もいません。
- ・ 子どもを育てながら就業するのに最も壁となるのは、時間の不足だと思います。企業にはフレックスタイム制などフレキシブルな就労の方法を求めていきたいです。市には、スポーツセンターなどの講座で、平日の昼間しかない女性向けのものを休日に開催して頂けるようお願いしたいです。
- ・ 私の場合、子どもは小学生で保育園も学童クラブも必要ありません。今は以前より育児に対する考え方が企業も変わってきているので、私の頃より産休・育休がとりやすくなっています。私がいつも思うことは、男性と同じ仕事をして彼らは仕事が終わったら自由になりますが、私たち女性は家事があり、定時で帰ってもまだまだ一日が終わらないという事もっと理解して頂きたいなと思います。
- ・ 私は、今この就職難において働く場所があるという事だけで大変ありがたいと思います。この気持ちを忘れずに経営者及び事業主などに信頼される様、全力で働き、努力していきたいと思ひます。

- ・ 中小企業の就業時間や休日に対する意識や取り組み方がまだまだ低く、働きづらい。また、男女均等待遇に対しての意識も低く、安い賃金で働かされている気分になります。もっと女性社員の能力に対して、男性並みの賃金を支給して欲しいです。中小企業の就業内容のレベルアップを希望します。
- ・ 私は一人暮らしなので実感はないが、子育て中の女性が外で働くのは肉体的にもきついと思います。男女の差別はないといいいながら、家庭を優先せざるを得ない状況であるから、仕事に腰を据えられない環境を会社は認めているようで、逆に一従業員としては軽視していると感じます。それだから、責任職は男性には広き門であり、女性は極稀な最優秀な者にしか扱えられずチャンスもなかなか回ってこないと感じています。多くの女性は社交的で仕事も正確で改善能力にも優れていると思います。もっと自信を持って仕事ができる環境を整えるべきだと思います。
- ・ 働きながら家庭の事・育児・介護などする事は大変です。かといって、家庭を優先させると勤務先からリストラされるのでは？という不安があります。
- ・ 働く女性に対して行政がいくら様々なサービスや施設を充実させても、実際に企業で働く人々（特に男性）や社会そのものの意識が変わらなければ何の発展もないと思います。制度が明文化されても、その制度を利用したのが為に職場内で気まずい雰囲気になってしまい、結局退職した…等々の話は数多く聞きます。育児休業にしても何の気兼ねもなく堂々と取得できるのは公務員だけです。中小企業に至ってはその制度さえないのが普通です。行政にかかわる仕事をされている方々は、自分たちの待遇のみがすべてと思わず、様々な立場の働く女性の声に耳を傾けてください。アンケートにもあった市のサポートに対して今後利用するかしないかの問い、「利用するつもりはない」と答えた人の中には、「利用したくてもできない」人もいるのだということを忘れてください。制度や施設を作るだけでは問題の解決にはならないと思います。ひとりの働く女性として、このように意見を言える場を作って頂いたことに感謝します。
- ・ 独身なので、育児の事よりも老後の生活の保障を求めています。
- ・ 病後児保育を利用しますが、一日2500円で一週間ともなると金額が高く感じます。保育園も7時までの為、共働きだと女性の方が長い時間の仕事にはつきません。また勤務地も制限されます。羽村市内の小児科が夜間などがないので困っています。
- ・ 保育園に子どもを預けて働いていますが、保育園の行事が土曜日なので会社をお休みしなければなりません。行事を日曜日に変えて欲しいです。保育料の見直し(保育料が高いと思う)。
- ・ 保育園に預けて働く場合、子どもが少しでも熱を出したりした際、預かってもらえなくなってしまいます。病院と連携した保育園があると嬉しいです。少しの熱で元気な様子なら預けられ、何かあればすぐに病院と連絡を取れるような、そんな保育園を希望します。
- ・ 保育所の時間延長、また、具合の悪い時の対応等、考えて頂きたいです。職場に対しても休みやすい環境を作ってもらい、また、フレックスタイムなど導入してもらいたいです。
- ・ いまだに男性は女性の上に立つべきという考えが根強く男性にも女性にも残っていると思います。また、子育てをしながら正社員として働く事の困難さを日々ひしひしと感じています。

【5 歳～55 歳未満】

- ・ 市で色々な講座等を行っているが、働いている人が参加できる時間帯が少なく、向上する為の機会が限られています。働いても税金や社会保険制等がどんどん高くなり意欲が失せます。多種に渡るサービスをメニューだけ作っても実際に利用する場合に現実的で柔軟な内容かどうかはまだわかりません。

- まだまだ男性中心の職場だと思います。女性の役付はいないので会議等は男性のみ。しかし朝の清掃は女性のみ。実力のないこちら側にも問題があるかも知れませんが、男性が上、女性が下という傾向を強く感じます。
- 正社員であれば尚更家事との両立が大変です。家族の協力が必要です。もっと時間が欲しいと思うことがよくあります。
- 家事と仕事を両立させようとするとう無理をしないとこなせません。特に残業等ある場合、朝起きてから寝るまで気持ちの休まる時がありません。家庭の問題、家族の心配等あるとなおのことです。パートにでもと思いますが、生活の為に頑張って働かざるを得ません。何事も前向きにと思いますが、男女平等とは言っても現実には賃金も少なく抑えられ、他にと思っても年齢を思うと次は無いかな？と思い、日々の仕事をこなしています。
- フルタイムで働いていますが、家に帰れば家事全般のもうひと仕事が残っていて負担は大きいです。配偶者の教育にちょっと失敗したかなと思う今日この頃です。ここ数年の不況、これからはますます男性一人で家族を養っていくのは難しくなり、女性も嫌でも働かざるを得ない状況になりつつあるように思います。少子化対策ということももっとしっかり取り組んで頂きたいです。また、年金制度も変わりつつある中で真面目に働いてきた者が老後の生活が成り立たないようなことがないように市営、都営住宅数などももっと充実させて頂きたいです。衣食住足りずして生きがいなど語れません。
- 核家族が増え、人との交流が希薄な世の中で、両親の帰りを待っている子どもたちの事を思うと、働く事に動揺する事がよくありました。今は学校が土曜日休みになり、子どもだけで家に居る事が多いと思います。
- 日本が最重要視しなければならないのは人口の減少・出生率の低下だと思います。女性が子どもを産み育てていこうと思う社会、働き続けながら子どもを産むことができる環境を育てていくことが出来る制度を早急に作っていかねば、日本は衰退していくばかりであると思います。
- 今の仕事をなくした場合、再就職は年齢的にも難しいと思います。会社倒産、または定年後もまだ仕事をしたいです。そういう年齢の人も生き生きと働ける場が欲しいです。
- 実働時間の確保、土日休みの充実、病気等の時の保障があると良いと思います。
- 年齢制限で仕事を変えることが出来ません。

【55歳以上】

- この調査に対し、小規模の会社にはちょっとどんなものでしょうか？全会社を対象にした事とは思いますが、もう少し実態調査も必要なのではないのでしょうか。
- この調査書は若い人だけの為に作成されています。高年齢で働いている人の意見も取り扱って欲しいです。育児休業の問題ばかりで答えられない。男性に育児休業等を取るような事があれば小企業はつぶれてしまいます。
- 育児・介護等、家庭内での女性の役割あるいは負担が非常に大きい為、その負担の軽減、あるいは理解を社会・会社・家族に期待します。そうすることが、女性が社会の中で精一杯自分の能力を発揮し、仕事に打ち込める様になる為の欠くことのできない条件であると思います。
- どの会社も若い人を選びますが、定年があっても働けるうちは働ける制度があってもいいと思います。シルバーの斡旋窓口等。
- 本当に自分が産んだ子どもを生後何ヶ月で預けて働くことができるのでしょうか。年代的なこともあるかと思いますが、そういうことを考えたことがなく、末子が3年生になる時、お金もかかるようになって働き始めました。子育てはお金がなかったけれど楽しかったです。

- ・ 女性も仕事の面では甘えは捨てるべきで、やはり会社は利益目的である事を頭に入れるべきだと思います。一生仕事を持つ事は自立という面ではいい事だと思うし、市役所なども子どもの育て方について助言をお願いしたいです。
- ・ 小規模経営の為、身内の者がどうしても長時間労働になり、時により休み時間も短縮になる場合があります。
- ・ 男女の賃金の差。誰の目から見ても毎日の仕事の量、責任がのしかかっていると思うが、女性の賃金の低さにがっかりします。
- ・ 働くという事に対してまだまだ女性の意識が甘い。したがって、キャリア形成ができていない。一番大切な事は社会整備もさることながら、女性の意識(働き続けるという事)を変える事。自分が変わらず、社会や企業に求めるだけではいつまでたっても進歩がない。また、働く上でのさまざまな困難も、努力と知恵を出して乗り越える努力が必要です。楽しんで仕事やお金は手に入りません。

《パートタイム その他》

【25 歳未満】

- ・ 職場に女性が少なく感じます。
- ・ 我が社には女性社員が数名しかいないので、食器洗い等の仕事を任せられ、迷惑しています。お茶出しや食器洗いは女性の仕事と決めつけている男性はまだ多いと思います。また、生理休暇が取得できますが、休暇取得の承認を得る上司が男性の為「生理休暇取得します」と言いにくい現状があったり、周りの社員が男性ばかりの為、もちろん生理痛などの理解はないでしょうし、どう思われているのか気になって、なかなか思うように取得できない状態です。

【25 歳～35 歳未満】

- ・ パートタイムで働く女性にも、正社員と同じ産前産後休暇を充実させて欲しいです。
- ・ パートで働いています。時間も長く、家に帰れば家事なども多く、子どもとのふれ合いが少ない気がします。子どもたちの為に働いているのに話も満足に聞いてやれず、一番大切な子どもたちを犠牲にしてまで何のために毎日頑張っているのかわからなくなる時があります。今後、子どもたちの心の成長についてとても心配です。
- ・ まだまだ女にとって働きにくい場が多いと思います。「女のくせに」「女なのに」などの声も聞かれ、もっと対等に扱われる仕事場が増えるといいと思います。
- ・ みんなで働きやすければどうでも良いです。楽しく働けてさえいれば金が安くても苦に感じません。
- ・ やりがいを求めて悩みつつも、パートに復帰しました。結婚する前は専業主婦になりたいと思い、復帰は考えていませんでしたが、子どもを産み、育児をしていると社会からとり残されたような気持ちになってきました。育児は楽しいけれども、社会からはどんどん遠のき、孤立しているような思いでした。娘を1歳半で保育園に預けての仕事、職場に一步踏み入れたところから、やっと母とはちがう一人の女性として胸を張れる事、生きがいを感じました。今はパートですが、いずれは正社員として働きたいです。年齢制限があるのでと心配です。男性が定年まで働けるように、女性もより長く働けるような世の中になって欲しいです。また、結婚し育児をする女性への理解を深めて欲しいです。
- ・ 子どもが小さい時に働くとなれば周りに必ず協力してくれる人がいなければ無理であり、職場の理解も必要です。幸い、私は義父母が協力してくれるので働くことが出来るが、そうでない方へのサポートをたくさんして欲しいです。また、障害児を持つ家庭への支援の充実に力を入れたいと思います。

- ・ 家事・育児・仕事を両立しています。会社では「家庭を大切に」と言ってくださる方もいますが、現実にはそう甘いものでもありません。残業もできない母親としては許容範囲を超えた業務が山積みで、それに応じられず板挟みの気持ちが常にあります。だからといって単純な事務作業でよいという訳もなく、自分には向上心もあるつもりです。けれど、子どもの病気となると優先的に休む。いつも気持ち的につらいというのがあります。
- ・ 子どもが2人います。風邪等で休む時、職場では快くお休み頂けますが、他の人の手前休みづらくまた、その分収入も減り辛いです。休みやすい環境が欲しい女性は多いと思います。
- ・ 出産や介護を理由に退職した場合の再雇用制度ができると良いと思います。
- ・ 女性は結婚・出産をきっかけにそれまでの生活環境とは全く異なってしまい、仕事を続けていくのに厳しい状況になってしまいます。その負担を少しでも軽減する為には保育園の充実、それに伴う保育料の面でも是非見直しして頂きたいと思いますが、女性がずっと仕事をもち続けていくには何より家族の理解と協力が一番大切だと思います。
- ・ 少し前に比べ、保育所にしても行政サービスが充実してきてよいことだと思います。しかし、一歩家庭の中に入れば女性は家事をするのが日本の習慣。でも男性はやらない人が多く、誰にもとがめられません。やっていけば良い夫となります。この古い考えから直さなければ男女平等となるのは無理です。働く女性が生き生きするには、家庭の中からも平等という基本的な意識の改革が必要だと強く感じます。
- ・ 正社員で働こうと面接に行くと、子どもがまだ小さいからと断られます。
- ・ 男女均等を謳いながらも賃金などの不平等さを感じます。30代・40代の女性の方もまじめに一生懸命仕事をしますが、社員起用は25才まで等の年齢制限をつけているのが実状です。女性進出の影には低賃金で使えるという背景があると思いますが、そこが差別の始まりでは？と思います。
- ・ 病後児保育は時間が限られていたり、人数が限られていたりして制限が多く利用しづらいです。ファミサポも支援してもらったまでの手続が面倒です。
- ・ 扶養範囲内で働きたいので、TVでやってる保険をパートにもというのは阻止してください。
- ・ 保育園の保育時間の延長 20:00 を希望しています。
- ・ 仕事と家庭を両立する状況になった時には、やはり休暇が取りやすかったり、時間の融通がきくと良いと思います。産休後も以前と変わらないような仕事ができ、仕事と家庭が両立できる環境であればやりがいもあり、充実した日々を感じると思います。
- ・ 女性は働く気持ちは持っていて、結婚・出産等により辞めざるを得ない状況があります。子どもが成長するまではできるだけ子どもと接していただけるような環境が希望です。仕事をするのであれば、育児時間制度や一時保育等の制度の充実と家族の理解が必要になります。実際に、制度が利用し易い環境ができるようになれば、仕事を続けていけると思います。
- ・ 男女の賃金・待遇の差をどこで働いても感じます。

【5 歳～45 歳未満】

- ・ キャリアに応じて年齢制限を無くした方がよいと思います。
- ・ 問 11 の 11 について、育児だけでなく、家事体験休業取得や家事参加への意識啓発事業をした方がよいのではないのでしょうか。育児、子どもを生む前にまずは結婚、同居生活の中で家事に参加してもらったことが大切だと思います。働きながら大きな子ども(夫)と子どもの面倒を女性だけで見るのは大変だ。ここにも、年若い親が関わったらなおさらです。

- ・ 安定して働ける場を提供して欲しいです。
- ・ 休日保育・病後児保育を利用したいとは思いますが、フルタイムのパートで働くものにとって1時間当りの保育料は負担が大きいと思います。
- ・ 子どもが病気になっても、なかなか理解してもらうのは大変だと思います。
- ・ 外国では、日本でおばあちゃんと呼ばれる年令の方が仕事に重要なポジションに携わり、再雇用されています。法律的には日本も年齢制限、男女の雇用募集の明記をなくしましたが、内容的にはまだまだ画一的なものには難しいです。「生きがい」として、「生活の糧」としてスタートの違う再就職でも社会的にいろいろな保障のされる社会になって欲しいと思います。育児休暇・ファミリーサポート等は男女関係なく支援されるものであって欲しいです。
- ・ 子どもの学校、保育園などの行事に気軽に参加できるようにしてほしい。福祉の充実をより深めてもらいたいです。小さな子ども、お年寄り、体の不自由な人たち、障害を持つすべての人にやさしい社会になっていけたら、それはすなわちすべての人たちにやさしいことになるのではないのでしょうか？女性ももっと働けば産業・金融の流れが活発になり、経済が豊かになるのでは？
- ・ 女性が働きづらいと感じるのは、男性女性を問わず、社会全般に「育児＝女の仕事」という意識が強いことだと思います。子どもが小さいのに働くのはかわいそうといった風潮がいけないと思います。子どもが病気の時や出産前後の支援を法制化するなど、行政側から企業に義務づけていかなければなかなか変わらないと思います。
- ・ 女性が働く環境が整っている仕事を探すのは大変なことです。今の若い母親の方々は本当に自分の働きたいと思う所で働いている人は少ないのではないのでしょうか。自分の働きたいと思う所で働くには、保育・学校・地域の子育て支援がどれだけ整っているかによると思います。女性が働き続けられる環境を羽村市はこれからも整えてください。
- ・ 昔は家のことは女性がするという考え方で育てられた男性が多いと思いますが、これからの時代はもっと男性にも家の事に対する意識を持ってもらい、女だからとか男だからといった隔たりがなく共に支えあっていけるような社会になって欲しいと思います。
- ・ 年齢制限の為、正社員になれません。今なら時間を気にせずに働けるのに。
- ・ 小さな子どもがいると仕事を探す事も大変です。小さな子どもがいるからと断られる事もあります。仕事をしたくても出来ないのです。
- ・ 病後児保育や延長保育、大人の仕事の都合ばかりを考えていますが、子どもの気持ちはどうなるのでしょうか？いくら預かる側が誠意をつくしても、父親や母親にはなれません。子どもたちがどうしたら健全に育つかを中心に考えていくべきだと思います。

【5 歳～55 歳未満】

- ・ 時給が上がりません。勤務時間が長くなっています。
- ・ 家の掃除を合理的にすると無精な女、スーパーで総菜を買うと横着な女、姑を施設に入れると非道な女等等、世間の風潮はまだまだ家事労働を女性の聖職だとしているようです（特にこの西多摩地域では）。それを振り切って「我が家流」を通そうとしても、安い給料でのフルタイム労働ではお金で片をつけるゆとりもなく、気持ちはいつもくすぶっています。たまに市役所などに行って女性職員が悠々と（キビキビも含め）働いているのを見ると「この人たちはどんな基準で採用されたのだろう」と考えてしまいます。一口に働く女といっても正社員とパートは天と地ほど違います。言い古されてはいるが、やはりまず「女の敵は女」だと思います。

- ・ 家事・育児は最終的には女性がしなければいけません。男性ももっと理解してお互いに助け合って生活しなければと思います。
- ・ 正社員として勤務していましたが、パートタイムに切り替えました。年齢を重ねた女性が働くことの不合理性を感じて思い切ってパート勤務にしてもらいました。一年間ですが、随分楽になりました。女性が働くことはまだまだ乗り越えていかなければならない課題が多くあるのではと思います。
- ・ 交通機関の不便さを感じています。
- ・ 今後、家庭での男性の理解と企業でのサポートは大きくて欲しいです。
- ・ パートと正社員との待遇・賃金の格差を感じます。はたして、40代の主婦を正社員として受け入れてくれる企業がどれ程あるでしょうか？例えば、一つの会社でパートタイマーとして10年以上勤務した場合、本人の希望により正社員となることができるというような社会的な制度があると安心して働くことができると思います。人は各々考え方も思いも違うのだから、女性が結婚・出産で会社を辞めたり続けたりする事は自由だと思います。でも、いろいろな選択肢があるということが真の豊かな国といえるのではないですか？
- ・ 女性が仕事をしていくうえにおいて結婚、特に出産・育児が一番のマイナス要因だと考えています。子どもが病気になり仕事を休み、そのことが重なり仕事を続けていくことが困難になり仕事をやめていく友人をよく見ます。仕事を続けていける職場は市役所・教員など育児休暇・産休をしっかりと取ることのできる職場の場合と思っています。いろいろな職場において女性特有の休暇を気兼ねなく取る事ができるようになればと考えます。
- ・ 男性の家事・育児・介護等の参加をごく当たり前のことと社会が今以上に認識すること。
- ・ 病院・銀行・市役所等の窓口の営業時間を延長して欲しいです。育児や介護は女性に任されている割合が高すぎます。もっと男性が参加できるよう全体の意識改革をすべきだと思います。
- ・ 国や地方自治体・会社等、女性が結婚・出産後も働きやすいような体制作りをして欲しいです。これからは女性もずっと仕事を持つ事があたりまえの時代になっていくと思うのです。育児が終って少しすると介護というように、女性には自分だけに使う時間があまり無いと思います。そういう女性をサポートしてくれる体制を是非行政の方達の力で実現して欲しいと思います。
- ・ 制度がありすぎて、本当に必要で使う方と制度があるから使わないとモったいないという方とあると思います。育児休暇も必要ですが、保育所の利用を早期に利用できたらいいと思います。
- ・ 扶養控除の額を増額させたらよいと思います。

【55歳以上】

- ・ 出来るだけ若い人たちに職を与えて欲しいです。
- ・ 経済的、その他条件が許すならば子育ては自分で行って欲しいと思います。働くことも大事ですが、子育てはやり直しできません。大切なことです。働くのはそれからでも遅くないはずです。
- ・ 生活の活性化と健康増進の為に私は働いていきます。

【無回答】

【25歳～35歳未満】

- ・ 女性が出世するためには男性の倍働かななくてはいけないので、男女平等にはほど遠いのが現状だと思います。

【無回答】

- ・ 小さな子どもを持つ働く女性へ、企業はもっと理解を持つべきです。
- ・ 年齢に関係なく、その人の働ける体力・能力・生きがいとして年に応じて仕事が出来るといった誇りを持って生活して明るく過ごせること。若い人との会話等、仲良く出来る様に、また、ストレス解消にもなると思います。
- ・ 正社員として仕事を持って、家庭に帰れば一人の主婦として全てやらなくてはなりません。この重圧感がなければ余裕を持って仕事に取り組めると思います。やはり男性は仕事、女性は家庭という意識が強い以上、なかなか家事を軽くすることはできません。どちらも曖昧にすることはできないので頑張るのみ。
- ・ 男女平等といってもまだまだ理解していない男性が多いです。行政の方で均等に扱わないといけないという制度を作るとか、男女機会均等法のアピールをすべきです。男性も育児休業を取りやすくする、そんな社会があるといいです。公務員・大企業等勤務者は比較的育児休暇等を取れるだろうが、中小企業では使ったらクビになってしまいます。行政が力を入れてアピールしたらいいです。